

進路だより

令和5年7月4日発行
第2号
北海道高等聾学校進路指導部
文責：鎌田

～3学年、社会見学に行く～

晴れた5月10日水曜日に、本校3学年は社会見学に行きまして。コロナ禍により、なかなか実現できない年が続きましたが、昨年度より従来通りの見学が可能になりました。

社会見学の目的として

- 1 見学先の施設や会社の仕事・業務を知り、社員の方々の働く様子や姿勢を実際に見て、社会的役割の大切さを理解する。
 - 2 施設や企業で働いている方々を間近で見ることにより、将来自分が働くイメージをさらに明確にする。
- の2点を定め、今年度は「クピド・フェア」（岩見沢市）様と「株式会社デンソー北海道」（千歳市）様を訪問させていただきました。どちらも社員の皆様が大変熱心に案内、解説、応答してくださり、生徒たちに多くの学びがあったかと思えます。

クピド・フェアは長い歴史を持つ「さまざまな人たちの自立した生活と社会への参加を目的に設立された社会福祉法人」（HPより）として、極小ベアリングやオーダーメイドでの車いす製造からWEBサイトの作成、化粧箱の組み立てまで様々な業務を請負、利用者の方々の自立を支援しています。

デンソー北海道は自動車に内蔵されている半導体センサを製造しており、工場も見通しが良いつくりで非常にクリーンな職場の会社です。高いレベルのモノづくりというのは、細かいことを決してないがしろにしないことと個々のミスをもっと最小限にするシステムの構築が重要であることを確認することができました。

では、参加した3学年生徒たちの声を紹介します（極力原文を載せるようにはしましたが、一部編集させていただきましたのでご了承ください）。1、2年生の皆さんは先輩の言葉から学びましょう。

- ・学校生活、仕事などで必ず人と会うたびに必ず挨拶をしっかりとやるということで、やる気を伝えることが大事だと気づいた。これからは積極的に挨拶をする。
- ・自分のミスは会社全体のミスに繋がるので、分からなかったら勝手な行動をせずに質問をしてから動くのが大事だと分かった。
- ・記録を残すということが大事だと思ったので、自分もメモ・記録を残すことを意識していく。
- ・これからは自分からあいさつをすることをがんばります。
- ・自分だけじゃ成功につながらないと強く思った。皆の支えがあるからこそ成功につながりやすくなると思った。
- ・実際に働いている様子を見ると、すごく忙しく大変そうに見えました。
- ・時間を見て行動することは大事だとわかりました。
- ・メモ・ノートを取っておくと後で見返すことができるので良いと思いました。



～職業相談会を行いました～

6月2日金曜日、本校体育館にて職業相談会が開かれました。職業相談会というのは、毎年ハローワーク小樽の就職担当官が本校に来校し、求職登録（高卒求人に応募するためにハローワークに登録する必要があります）を行い、就職を希望する3学年生徒・専攻科2学年の学生（一般就労と就労継続支援A型のみ対象）と保護者に対し相談やアドバイスをするという進路行事です。

事前に生徒・学生の皆さんは、自分の進路希望について書き提出していただきましたので、それに基づいて就職範囲や職種について話し合わせ、就職に関する注意事項や心構え、残りの高校生活でどのような資質を養っていく必要があるのか、などについても学びました。



☆進路指導部長からのメッセージ☆

本校には進路関係の方々がよく訪れます（明るく、礼儀正しくあいさつできていますか？）。また企業や事業所などにも出向いていろいろなお話をさせていただく中で、生徒の皆さんの話をすることがあります。その話の中でほとんどの方々考える、高校生に「身に付けてほしい資質や能力」というものの共通項が浮かんできます。

ちょっと挙げてみましょう。

1 素直さ

（「苦手かどうかはさておき、とにかくなんでもやってみよう！注意を受けたことはありがたいと考え、改善していこう！そうすることで自分の成長につながる！」という考え方、とらえ方を身に付ける。）

2 明るさ・前向きな姿勢

（暗い表情や後ろ向きな考え方の人と仕事したいと思う人はいません。明るさや前向きな姿勢を持つ社員が増えたら職場の雰囲気は良くなりますし、何より自分自身がやる気になります！）

3 規律正しい生活習慣

（最近これが怪しい人が増えていて困っているという声をよく聞きます。会社としては欠勤が多かったり、たびたび遅刻する人を信頼して雇うことは難しい、とおっしゃっていました。当然ですよ。）

4 体力

（体力がないとすぐ疲れる、気持ちも滅入りやすい、病気がちになる・・・何もいいことはありません。）

5 コミュニケーション能力

（ここで言うコミュニケーション能力とは、工作中だと自分から質問したり、確認したり、要望を明確に伝えられる力、仕事外だと自分からあいさつしたり、話を振ったり、質問してみたりといった力です。）

これらはどれも日常の習慣で養われるものです。このような資質を早くから身に付けられたら、自信を持って面接試験に、そして実際の就労に向かえるようになりますので、生徒・学生の皆さんには日々「昨日の自分を越えるぞ！」という気持ちを持って過ごすことを期待しています！

